



ktunes
RACING

Super GT Okayama Official Test Report 2018/3/17-18

Test Days Summary

RC F GT3を駆り新規参戦する「K-tune Racing」

中山選手の不参加により新田選手のみでのテストとなるが

順調にテストプログラムを消化し、地元での開幕戦へ弾みを付ける。

Test Days

LM corsa とタッグを組み今シーズンから新規参戦する「K-tunes Racing LM corsa」。K-tunes Racing は岡山トヨペットが母体となるレーシングチームで、これまで 86/BRZ Race やインタープロトシリーズ、岡山チャレンジカップなどに参戦してきて、満を持して国内最高峰のスーパー GT にエントリーした。

マシンは、昨シーズンの最終戦までチャンピオンシップを争っていた LEXUS RC F GT3 で、ドライバーは GT300 クラスの最多優勝記録を誇る新田守男選手と、昨年も同マシンのステアリングを握っていた中山雄一選手の二人。使用するタイヤも昨年同様のブリヂストンで、監督も引き続き影山正彦氏が指揮を取るため、参戦初年度ながらも高い戦闘力によってチャンピオン候補の一角と目されている。

チームは 1 月末に富士スピードウェイで実施されたメーカー専有テストで今シーズンのスタートを切った。だが、あいにくの降雪によって周回を重ねることができなかった。続く、鈴鹿サーキットでのテストでもウエットコンディションやマシントラブルによって走行の機会を失っていた。実質的な初走行となったのが、3 月 17 日（土）、18 日（日）に岡山国際サーキットで行なわれたスーパー GT の公式テスト。

今回のスーパー GT 公式テストは、シリーズエントリーしている 44 台のマシンが勢ぞろいし、ライバル勢の動向が初めて確認できる大事な場所となる。

初日の 17 日は、2 時間の走行枠が 2 本設けられていて、まずは 9 時 50 分に 1 本目のセッションがスタート。今回のテストは、中山選手がニュルブルクリンクでの走行とバッチィングしていて欠席となり、新田選手が一人で担当することになった。ほぼ K-tunes RC F GT3 の初ドライブとなったが、さすがにベテランらしく 8 周目には、このセッションのベストタイムとなる 1 分 27 秒 962 をマーク。2 時間の走行枠で合計 33 周を走行し、結果は 24 番手となった。

Test Days

14時からスタートした2本目のセッションは、ピットインを繰り返してセットアップを煮詰めて行く。開始1時間を過ぎた頃にコンパウンドの異なるタイヤを導入し、初日のベストタイムとなる1分26秒556を記録する。その後も1分26秒台のラップタイムをマークし、上位勢と遜色ないパフォーマンスを発揮。2本目のセッションは10番手まで順位を上げて終了することになった。

一夜明けた18日は、9時から3本目のセッションが開始された。前日の調子を維持したまま、K-tunes RC F GT3はコンパウンドの異なるタイヤの比較やセットアップ作業を実施。セッション終盤には、今回のテストのベストタイムとなる1分26秒358をマーク。トップタイムから約0.8秒へとギャップを詰めていく。3本目のセッションも順調にテストプログラムを消化し、合計54周を走行。結果は12番手となった。

約2時間半のインターバルを経て14時30分から行なわれた最終セッション。ここでは予定通りにレースの実戦を想定したロングランを行なった。ロングランでも安定したタイムを刻み、周回を重ねてもタイムの落ち幅は少ないことが示された。

初の公式テストとなったK-tunes Racing LM corsaだったが、想定していたプログラムをトラブルなくこなし、チーム全員が実のある結果とデータが得られたと確信。来週には、富士スピードウェイでの公式テストが控えていて、そこでさらに状態を上げて、地元での開幕戦となる岡山国際サーキットラウンドに挑む。



Team Comment



Director : 影山 正彦

2日間を通じて順調にプログラムを消化できて良いテストになりました。公式テストの前に富士スピードウェイと鈴鹿サーキットでメーカーテストに参加したのですが、雪や雨などでまともに走行できませんでした。新田選手は、これまでに数周しか走れずほぼ初走行です。それでもベテランらしくマシンにはすぐに慣れて、確実にデータを収集してくれました。ブリヂストンタイヤが用意してくれた複数のモデルを確かめることができ、有意義な内容と言えます。来週には富士スピードウェイでの公式テストが控えているので、より多くのデータを集めて、良い状態で開幕戦を迎えたいです。



Driver : 新田 守男

ドライバーが一人だったのですが、トラブルなく走行距離を稼ぐことができました。予定していたプログラムもこなし、マシンの特性も分かりました。昨年のデータと照らし合わせて整合性も取れましたし、納得いくテストでした。K-tunes RC F GT3は、昨年まで乗っていたFERRARI 488 GT3よりもフロントヘビーなマシンで、得意とするところが異なります。エンジン特性は、トルクがあって乗りやすい印象を受けました。ブリヂストンタイヤは想像通りのパフォーマンスで、課題も見えているので、次回の富士スピードウェイでのテストも含めて、よりセットアップを煮詰めて行ければと思います。

2018年スーパーGT レーススケジュール

- ▶ 3/24-25 Official test Fuji
- 4/07-08 Round1 OKAYAMA
- 5/03-04 Round2 FUJI
- 5/19-20 Round3 SUZUKA
- 6/30-7/01 Round4 THAILAND
- 8/04-05 Round5 FUJI
- 9/15-16 Round6 SUGO
- 10/20-21 Round7 AUTOPOLIS
- 11/10-11 Round8 MOTEGI